

平成29年8月21日  
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 出雲地方農業士会が総会に合わせ現地視察研修会を実施  
～新規就農者の育成のあり方について意見交換～

(ダイジェスト)

8月2日に出雲地方農業士会の視察研修会及び総会が開催されました。視察研修では、K農業士（野菜）とK認定新規就農者（果樹）の農場を視察し、野菜や果樹の経営状況について、お互い情報交換をするとともに美味しまね認証の取得や今後の担い手支援のあり方について意見交換をしました。

出雲市において農業振興の一助を担う出雲地方農業士会は、毎年総会に合わせて、お互いの経営内容や農業に対する考え方などの情報を交換し合うため、会員農場の視察を実施しています。

今回は、近年、新規就農者が増えていることから会員農場の他に、新規就農者の農場も併せて視察し、今後の新規就農者の支援についても情報・意見交換を行いました。

1. K農業士（40歳代）の農場

- ・作物及び規模：野菜（こまつな、ほうれんそう、みずな、いちご、ネギ他）  
233a

- ・特記事項：美味しまね認証による経営改善、農業生産法人経営の取組概要

2. K認定新規就農者（30歳代）の農場

- ・作物及び規模：柿（西条、伊豆、富有）630a

- ・特記事項：柿の生産と加工に特化した産地振興、JA柿リース団地での取組概要

K農業士の農場では、会員相互で農産物に対する安全性確保の必要について、再認識し、中には、美味しまね認証の取得を検討する会員も見られました。一方、K認定新規就農者の農場では、農業に対する考え方に刺激を受けるとともに、農業士の新規就農者に対する支援の必要性についても再認識しました。

今後もこのような現地視察を行い、情報の共有化を図りながら、地域農業の在り方について、検討していきたいと考えています。



K農業士農場



K認定新規就農者